

# 申込書等の書き方

## 申込書類記入上の注意

○ 申込書は、黒のペンまたは黒のボールペンを使用し、丁寧に記入してください。

ただし、特に指定のある箇所(収入金額など)は鉛筆で記入してください。

また、間違った場合には修正液などを使用せずに、二重線で消し、訂正印を押してください。

訂正印が多いと書き直しとなることがありますので、鉛筆で下書きし、確認してからご記入ください。

## 記入例

《表 面》

提出用

学籍番号

### 神戸学院大学大学院奨学金申込書

神戸学院大学長 殿  
 2000年 月 日  
 下記の記載事項に相違ありません。また、私の家の経済状況は奨学金の貸与を受けてなお、学業を続けるには厳しく、困窮しております。そのため、支給奨学金の受給を得ることで、学業を継続していきたいと考えております。  
 つきましては、神戸学院大学大学院支給奨学金申込書および必要書類を添えて、2000年度神戸学院大学大学院支給奨学金を申し込みます。

※ 申込事項	A	ア.「第一種」のみ イ.「第二種」のみ ウ.「第一種」及び「第二種」の併用貸与 エ. 大学院支給(過去に採用となつたことがある場合、年度に○ 2000・20△△・20××)
	B	「第一種」の場合(月額) 修士: 50,000円・88,000円 博士後期: 80,000円・122,000円 入学時特別増額(有利子) 要・不要
	C	「第二種」の場合(月額) ア. 50,000円 イ. 80,000円 ウ. 100,000円 エ. 130,000円 オ. 150,000円 貸与開始月 2000年 月より
	D	「第一種」「第二種」の併用貸与を希望する場合の金額 第一種( )円 第二種( )円
	E	日本学生支援機構奨学金保証制度の選択 ア. 人的保証制度(連帯保証人・保証人を選任) イ. 機関保証制度(機関保証に加入)

神戸学院大学 大学院 研究科 専攻 年次  
 ※修士・博士後期 20 年 月 入学・20 年 月 修了見込

フリガナ  
 本人氏名 (昭和・平成 年 月 日生 歳)  
 連帯保証人氏名 本人との続柄( )  
 保証人予定者氏名 本人との続柄( ) \* 機関保証加入者は記入不要

本人の履歴	履歴(学歴・職歴・自己研修・家事従事等を含む)	機構前(現)奨学生番号
	年 月( )大学等卒業	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	

本人の収入	区分	勤務先	職業	収入金額(年額・税込)	20△△年の週あたり就労時間	
	定職			2000年 万円	20△△年見込 万円	
					万円	万円
	アルバイト			万円	万円	週 時間
				万円	万円	週 時間
				万円	万円	週 時間
	父母等からの給付額				万円	
	奨学金(現在申込中のものは除く)				万円	
	その他の収入(内容: )				万円	
	配偶者の収入状況(定職収入のみ)				万円	
氏名 ( 歳)				万円		
本人及び配偶者の収入金額合計				万円	万円	

《裏 面》

研究題目(研究分野)

大学院進学目的と研究計画

これまでの研究内容(提出論文・紀要・学術雑誌等の発表論文等)

奨学金を希望する家庭事情や、その他特に説明を要すること

本人の生活状況	本人の1カ月の生活費(2000年度入学者は、見込みで作成してください)					
	収入の部			支出の部		
	家庭から	円	※収入合計と支出合計の金額を合わせる ※父母等が学費を全額支弁している場合は、学費欄は0と記入すること	食費	円	収入と支出の合計金額は同じ金額にしてください。(間違えると訂正印が必要ですので、鉛筆で下書きをした状態で、窓口で確認させていただきます。)
	アルバイト	円		住居費	円	
	奨学金	円		交通費	円	
	(名称: )	円		学費	円	
	その他	円	書籍費	円		
	合計	円	雑費	円		
	※	アルバイト収入等上記金額はおもての収入年額÷12		預貯金	円	
	※	奨学金は既に決まっているもののみ記入		合計	円	
該当するものに○を入れてください			下記の支出については、誰が負担していますか			
1: 家族と離れ下宿している		食費: 本人・父母等・その他( )	住居費: 本人・父母等・その他( )	交通費: 本人・父母等・その他( )	学費: 本人・父母等・その他( )	
2: 家族と同居している		書籍費: 本人・父母等・その他( )	雑費: 本人・父母等・その他( )			
3: 既婚で、親と別に生活している		受給が決まっている奨学金のみ記入				
4: 既婚で、親と同居している						

家族構成	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	職業	所得の種類	収入・売上金額	所得金額	
		父					万円	万円	
		母						万円	万円
								万円	万円
	就学者	続柄	氏名	設置者	在学学校		学年		
				国公・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学院				
			国公・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学院					
			国公・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学院					

事務記入欄 控除内訳: 就学者( )人、障がい者( )人、長期療養( )円、被害金額( )円

大学院入学まで空白期間のないように記入してください。職歴や自宅学習などもすべて記入してください。記入欄が少なく書ききれない場合は、別の用紙に同様に

支給奨学金を申し込まれる方は本人の収入と裏面の本人の生活状況のアルバイト収入欄は連動させてください。  
 例: アルバイトで年収36万円の場合、本人の生活状況欄のアルバイト収入は1カ月分で3万円になる。

金額は添付書類をもとに鉛筆で記入してください。

内容は、なるべく楷書で丁寧に詳しく書いてください。乱筆・内容不備など場合には、書き直しになることがあります。

収入と支出の合計金額は同じ金額にしてください。(間違えると訂正印が必要ですので、鉛筆で下書きをした状態で、窓口で確認させていただきます。)

金額は添付書類をもとに鉛筆で記入してください。

大学側で記入しますので、何も記入しないでください。